

基本情報(配置要望書より)

1	隊員の活動エリア	峰方地区(集落名:蓬平、会沢、清水、桐山)
2	地区が隊員に求めるもの	<p>理想の隊員像は・・・</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康であること ・地域を明るくするためのコミュニケーション能力があること ・自然が好きで、田舎が好きで、そこに住むことでアイデアを持てること ・アイデアを実現できる行動力があること
3	地区からのコメント	地域の人に信頼されていればおのずと道は開けますし、皆が手を差し伸べます。そういった人が成長できるようなフォローを地域として行っていきます。
4	世話人	<p>若井君男さん、小堺よし子さん、小山征一さん、寺崎敬一さんの4人</p> <p>※世話人とは、地域との仲立ち役として、地区内のことについて相談に乗る人のこと</p>

活動内容(配置要望書より)

1	全隊員共通の活動	<p>地区との関係づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道普請のほか、各種集落活動や行事に参加すること ・地区の活動を支援するなかで、地区への理解を深めること ・地区で何か困りごとがあれば、親身になって相談に乗り、可能であれば支援すること 						
2	担当地区ごとの活動	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">目標(地区の将来像)</th> <th>今、協力隊がやるべきこと</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>農業後継者不足の解消</td> <td> <p><input type="checkbox"/>蓬平生産組合の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・米の生産やブランディング、販売促進の支援 <p><input type="checkbox"/>農林業を生業として続ける方策の検討と実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在の技術や方法を用いて考える </td> </tr> </tbody> </table>	目標(地区の将来像)		今、協力隊がやるべきこと	1	農業後継者不足の解消	<p><input type="checkbox"/>蓬平生産組合の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・米の生産やブランディング、販売促進の支援 <p><input type="checkbox"/>農林業を生業として続ける方策の検討と実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在の技術や方法を用いて考える
目標(地区の将来像)		今、協力隊がやるべきこと						
1	農業後継者不足の解消	<p><input type="checkbox"/>蓬平生産組合の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・米の生産やブランディング、販売促進の支援 <p><input type="checkbox"/>農林業を生業として続ける方策の検討と実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在の技術や方法を用いて考える 						

		<p>(6次産業化、体験交流事業化など)</p> <p><input type="checkbox"/>農林業を生業にできる若者の発掘</p> <p>・若者(20代~40代)へのアプローチ方法の検討と実施</p>	
	2	<p>地域経済の活性化</p>	<p><input type="checkbox"/>松代やぶごさきの会の支援</p> <p>・アウトドア里山体験、キャンプ場、交流事業の支援</p> <p><input type="checkbox"/>松代地域や峰方地区に経済効果をもたらす方法の検討と実施</p> <p>※交流人口が多いので、それを活かしたい</p> <p><input type="checkbox"/>芸術祭と地域とのパイプ役となり、交流を拡大する</p>
	3	<p>地域の空気を明るくすること</p>	<p><input type="checkbox"/>地域活動に参加して、明るく会話すること</p> <p><input type="checkbox"/>高齢者世帯の農作業などの支援</p> <p><input type="checkbox"/>独居高齢者の生活支援</p> <p>・福祉活動(日常のコミュニケーション+α)</p> <p>※「+α」は、例えばちょっとした作業を手伝うなど</p>
3	定住に向けての活動	<p>スキルアップ</p> <p>・地区で暮らすための技術の習得(豪雪地での暮らし方、山間地での暮らし方、営農技術)</p>	
4	任期満了後の展望	<p>【生業について】</p> <p>生業の創出も活動に含まれるため、就農・就職・起業等に必要な知識と技術は、任期中に習得することが可能であり、地区も協力していく。</p> <p>自分自身で未来を切り開く気持ちを持てば、任期中に自分が作り上げた組織やシステム、または地域に浸透した組織(蓬平組合、松代やぶごさきの会)などに属し、さらに活動を発展させ生業にすることも可能である。</p> <p>【定住について】</p> <p>新規就農の補助金を使って定住した人もいるため、地区内の先輩から経験などの助言を受けることができる。</p>	